



<CAM ベトナム・特別レポート>

情報提供用資料

2019年8月30日

ベトナムの保険業界

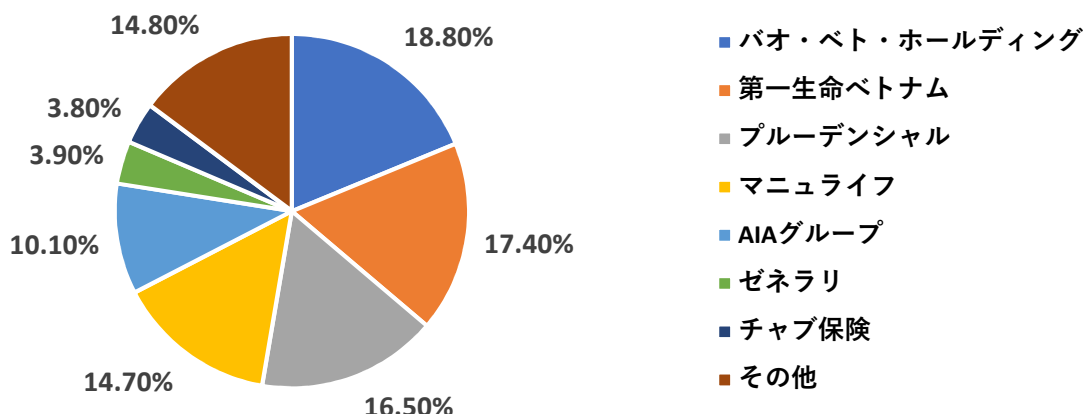
マーケットは拡大だが競争も激化

生命保険

ベトナムの生命保険市場の規模は、同国保険協会によると約 86.2 兆ドン(約 3,967 億円)である(2018年)。保険の浸透率は 1.7%で他の東南アジア諸国と比べてもかなり低い。しかし、市場では 2018年~2023年の期間に、市場全体の保険料収入は年率 19.0%で伸び、2023年の時点の普及率は 2.5%と予想している。生命保険の主要商品別シェアは、特約保険(ライダー)が 65.6%、養老保険が 17.7%、ユニバーサル保険が 13.0%となっている。

ベトナムの生命保険会社の内訳は、外資 17社、国内系 1社で、外資系業者が市場を席捲している。その理由は、損害保険と比べても生命保険のリスク管理がより高度であり、国内の保険会社の数理的スキルが外資に比べ劣後している点にあると言われている。主要な業者は、バオ・ベト・ホールディングス(BVH)、第一生命ベトナム、プルーデンシャル、マニユライフである。損保業界ほどではないが生命保険業界も競争が激しく、かつては 50%を超えた上位 2社の市場占有率は、直近で 36%ほどに低下している。

【生命保険会社の市場シェア；2018年上半期】



出所：現地証券会社のレポートを基にキャピタルアセットマネジメントにて作成

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



損害保険

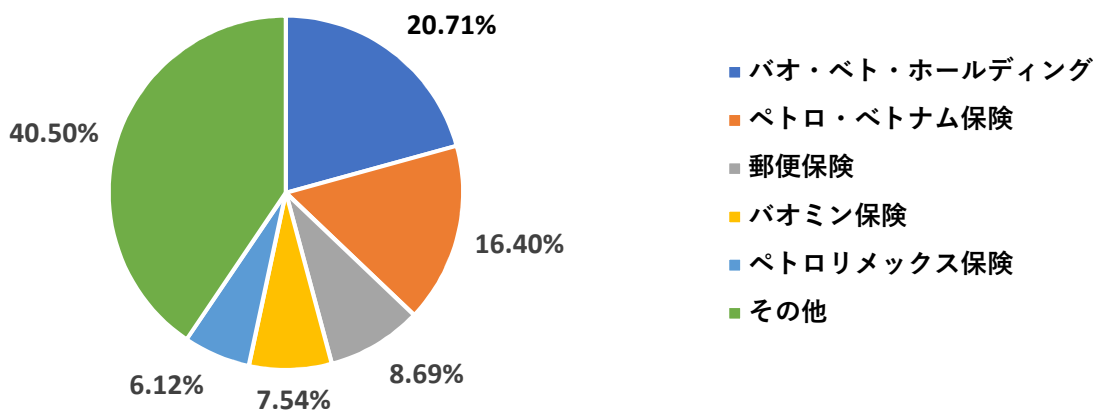
ベトナムの損害保険市場の規模は、同国保険協会によると約 46.7 兆ドン(約 2,149 億円)である(2018 年)。2018 年~2023 年に期間に、市場全体の保険料収入は年率 12%~15%で伸びると予想されている。現在、損害保険の浸透率は 0.82%程度と見られているが、GDP 成長率との相関性は高く、経済成長と共に普及率は上昇すると予想される。

ベトナムでは自動車所有率は現在 2.3%と低いが、2023 年までの自動車販売の伸び率が年率 19%と予想されているため、自動車保険への加入が損保市場全体の成長に寄与すると思われる(現在、自動車保険の商品別シェアは 32.1%)。損害保険料収入の構成比率で上位の分野は、自動車保険(32.1%)、医療保険(29.7%)、財産保険(14.1%)、火災保険(8.6%)である。

ベトナムには損害保険業者が 30 社あるが、生命保険業界と異なり大多数は国内業者である。主要な業者は、バオ・ベト・ホールディングス(BVH)、ペトロ・ベトナム保険(PVI)、郵便保険(PTI)、バオミン保険(BMI)である。

ベトナムの損害保険業界は、激しい競争環境下にあるが、その理由は損害保険商品について他社との差別化が難しく、保険料の値引き競争を強いられるからである。数年前は約 7 割あった上位 5 社の市場占有率は直近で 63%ほどに低下し、むしろ小規模の外資系業者が徐々にシェアを伸ばしているのが現状である。

【損害保険会社の市場シェア；2018 年上半期】



出所：現地証券会社のレポートを基にキャピタルアセットマネジメントにて作成

以上